

# 厚木市衛生プラント

## 施設概要

名称：厚木市衛生プラント  
事業主体：厚木市  
処理能力：1日あたり69kℓ  
処理方式：標準脱窒素処理方式  
構造規模：鉄筋コンクリート造  
(地下1階、地上2階)  
敷地面積：7,467.94㎡  
建築面積：1,566.23㎡

当プラントの運転管理は、厚木市からの受託により行っております。

## 処理概要

1

プラント施設に搬入された「し尿」や「浄化槽汚泥」は、砂等の比重の大きいものを除去した後に細かく破碎され、細目スクリーンによってし渣（ごみ）と汚水とに分離されます。脱水機で水分をしぼったし渣は、ごみ焼却場に運ばれて焼却処分されます。（図1）

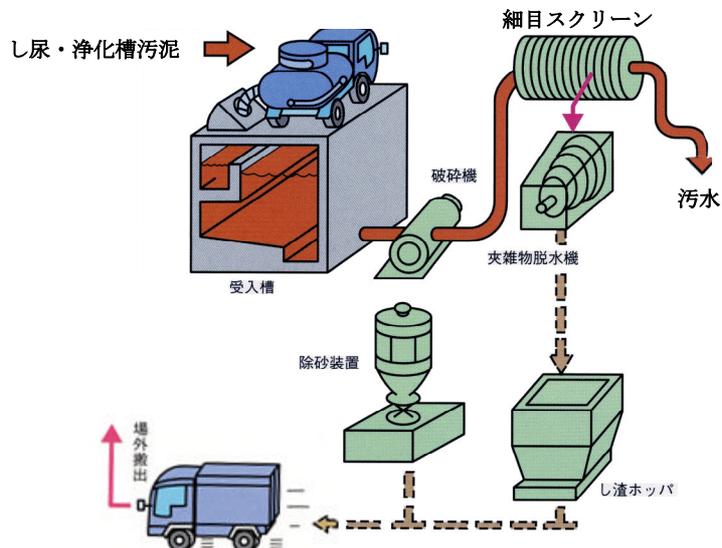


図1

2

汚水は、希釈水、返送汚泥、循環液と混ぜられてから脱窒素槽・硝化槽に送られ、微生物（脱窒菌・硝化菌）の働きによって汚水に含まれている有機物（BOD）と窒素分（アンモニア等）が取り除かれます。

（図2）

3

有機物と窒素分が取り除かれた汚水は、沈殿槽に送られます。ここで、汚泥を沈降させて「きれいになった水」を公共下水道に放流しています。

（図2）

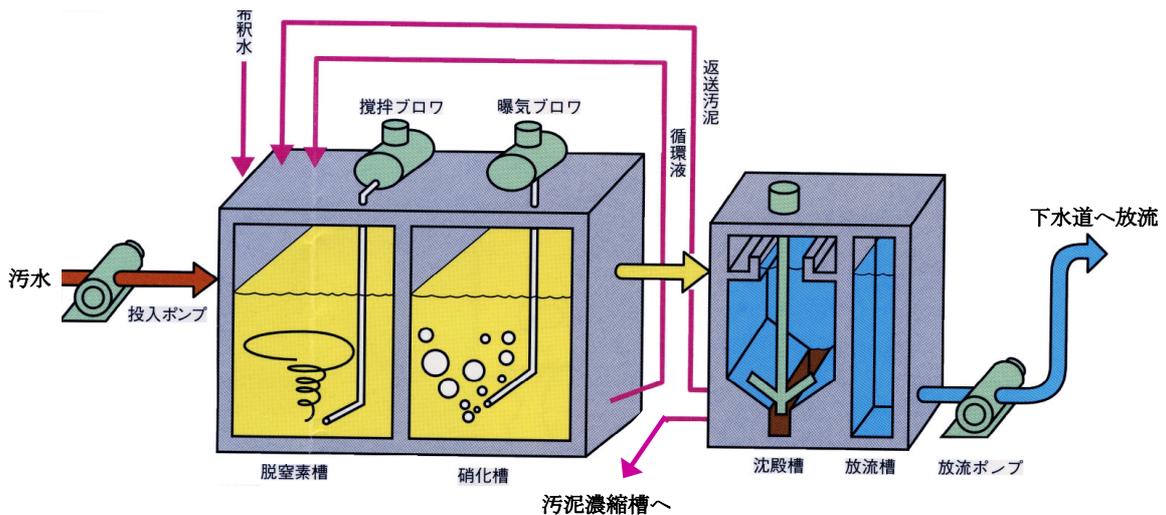


図2

4

沈殿した汚泥は、汚泥濃縮槽でさらに濃縮されて汚泥貯留槽に送られます。そして、ベルトプレス型の脱水機で水分をしぼった後、ゴミ焼却場に運ばれて焼却処分されます。（図3）

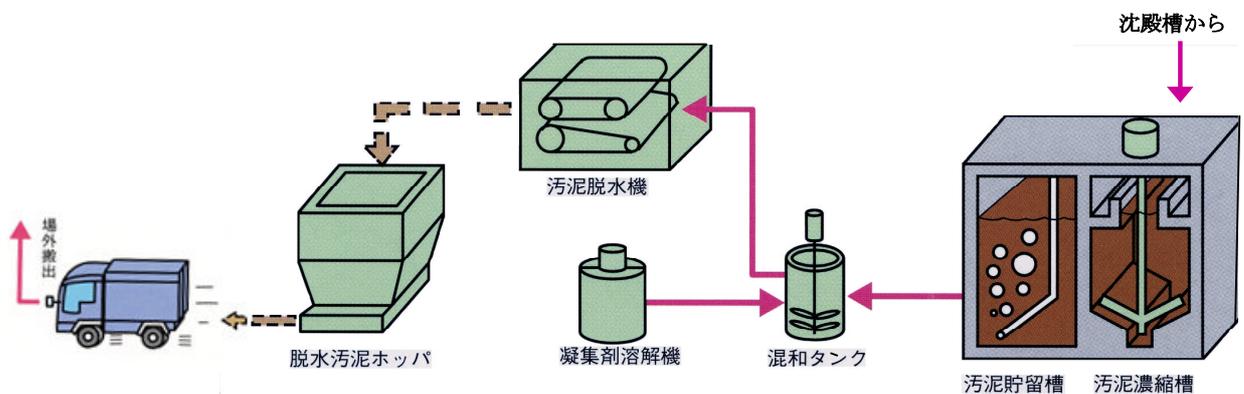


図3

## 臭気(におい)はどう処理しているの？

プラントから発生する臭気は、周辺の環境に影響しないように配慮した脱臭処理を行っています。

高濃度臭気は、硝化槽で生物脱臭した後に中濃度臭気として酸洗浄塔とアルカリ洗浄塔で向流接触させて洗浄しています。酸洗浄塔では、硫酸によって臭気成分であるアンモニアとアミン類を吸収させ、アルカリ洗浄塔では、次亜塩素酸ソーダと苛性ソーダにより硫化水素などを分解処理しています。その後、低濃度臭気とともに活性炭吸着塔で物理的に吸着脱臭処理が行われて大気中に放出されています。(図4)

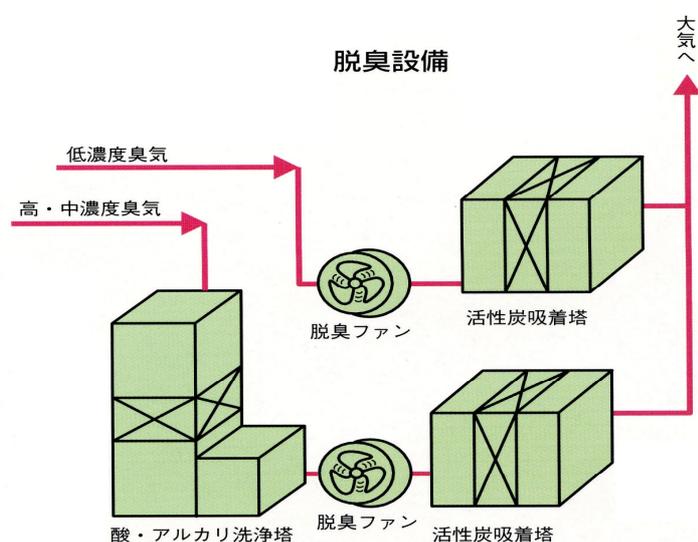


図4

## 雨水の再利用も行っています！

プラントの屋根から集められた雨水は、場内散水用等の水として再利用しています。

